

平成 17 年 8 月 8 日

在沖米海兵隊司令部外交政策部へ

普天間基地使用の軍用機の飛行停止を要望する

昨年 8 月 13 日に米軍ヘリコプターが沖縄国際大学のキャンパスに墜落炎上した事故から丁度一年が経過しました。本学は事故直後から一貫して、**普天間基地使用の軍用機の飛行停止を要望**してきました。平和で安全な学習環境が大学の教育に必要と思慮します。

4 月以降ヘリコプターがキャンパスの上空を飛行する回数が増加しています。事故一年の節目に本学は、**あらためて普天間基地使用の軍用機の飛行停止を要望**します。

本学は昨年のヘリコプター墜落事故が大学経営に悪影響を及ぼすと懸念しています。昨年度は受験生が志望大学を決定した後に墜落事故があったので本学への志願者数が大きく減少することはありませんでした。今年度の志願者数はまだ決まっていますが、事故の影響で志願者が減少することを懸念しています。昨年まではヘリコプターがキャンパスの上空を飛行しても騒音が気になる程度でしたが、いったん墜落の経験をするると再び墜落しないかとても不安です。ヘリコプターの飛行が頻繁ですと学生が安心して勉強に取り組むことが困難になります。**大学の教育環境、学生が安心して勉強できる環境を保持するために墜落から一年が経過した現在、改めて普天間基地からの軍用機の飛行停止を要望する。**

沖縄国際大学 米軍ヘリコプター墜落事件対策委員会
委員長 渡久地 朝明